



主日礼拝式プログラム 8:45~10:15am



賛美

「わたしの望みは」

「私たちは一つ」

「慕いまつる主の」

「永遠にあなたと」

讃美画: 肥田仁司

献金

牧会祈禱&主の祈り

宣教支援献金

聖書箇所 ルカ福音書18章9節~14節 中川真実

メッセージ「胸を打つ祈り」 大嶋重徳牧師

賛美 「あなたがすべて」

頌栄

祝禱

報告

会堂礼拝とオンライン礼拝が、主の御霊によって
一つとされ共に主を礼拝いたしましょう。

お知らせ

- 礼拝後10:30am 初心者クラス(関牧師 教育館2階)、分かち合いのクラス(教育館1階)、マタイ福音書クラス(アイゾン直子、第二、第三週 教育館2階) 初めての方もどうぞご参加ください。
- 本日は、受難節第五週目です。いよいよ主の十字架に想いを向けていきましょう。
- 本日の礼拝のメッセージは、大嶋重徳牧師(鳩ヶ谷福音自由教会)です。
大嶋先生は、ワイキキ集会 4pm でもご奉仕されます。
- 関牧師は、今週の水曜日から土曜日まで、教団シェパード委員会のためにサンノゼに出張されます。
- 3月29日(金)7:30pm 礼拝堂 受難日礼拝が持たれます。

献金



風の吹くままに

▼最近出会った言葉なのですが、アウシュビッツの収容所から生還したユダヤ人の精神科医であるヴィクトール・フランクルは、次のように言いました。

「私たちは、問われている存在なのだ。人生の生きる意味を問うてはならない、私たちは、人生から生きる意味を問われている。(『それでも人生にイエスと言う』みすず書房)

意味を問う時に、私たちは「なぜ、どうして?」という答えのない不条理に囚われてしまいます。しかし、問われている自分に気づくとき、人生に一条の光が射し込みます。

私たちは、人生を導いてくださっている神から問われている存在なのです。

▼本日の礼拝メッセンジャーの大嶋重徳先生は、今日本で最も用いられている主の器です。奥さまの裕香さんと共に、これからのさらなる活躍を心からお祈りします。



関真士牧師
sekishinji89@gmail.com

2023年度聖句

神の命令を守ること、それが神を愛することです。神の命令は重荷とはなりません。ヨハネの手紙 5章3節

スモールグループの心得

心を傾けて聴こう、理解しよう、共感しよう。教えない、否定しない、批判しない。そのままを受け入れましょう。



分かち合いのポイント

①語られたメッセージをもとに、分かち合いましょう。

ルカ福音書18章9節～14節

自分は正しいと確信していて、ほかの人々を見下している人たちに、イエスはこのようなたとえを話された。「二人の人が祈るために宮に上って行った。一人はパリサイ人で、もう一人は取税人であった。パリサイ人は立って、心の中でこんな祈りをした。『神よ。私がほかの人たちのように、奪い取る者、不正な者、姦淫する者でないこと、あるいは、この取税人のようでないことを感謝します。私は週に二度断食し、自分が得ているすべてのものから、十分の一を献げております。』一方、取税人は遠く離れて立ち、目を天に向けようとせず、自分の胸をたたいて言った。『神様、罪人の私をあわれんでください。』あなたがたに言いますが、義と認められて家に帰ったのは、あのパリサイ人ではなく、この人です。だれでも自分を高くする者は低くされ、自分を低くする者は高くされるのです。」

ホノルルキリスト教会

2207 Oahu Avenue, HONOLULU, HI 96822

日本語部 事務所 ☎ (808) 973-4335

Email: office@honoluluchristian.church



ホノルルキリスト教会 2024年3月17日

週報



詩篇105篇1節～3節

主に感謝し 御名を呼び求めよ。そのみわざを諸国の民の間に知らせよ。主に歌え。主にほめ歌を歌え。そのすべての奇しいみわざを語れ。主の聖なる御名を誇りとせよ。主を慕い求める者たちの心よ喜べ。